



国鉄北陸

国鉄労働組合 北陸地方本部

(NTT)076-231-1506(FAX)076-231-1114(JR)065-2393

(Mail)nru-hk@m2.spacefan.ne.jp

発行人 藤野 能章
編集人 山田 輝男

第81回定期地方大会開催!

要求で団結し、職場から闘い、組織拡大をめざそう!



挨拶をする藤野執行委員長

大会は、土合副委員長長の司会で始まり、大会議長に福井県支部の齋藤代議員を選出した。議事が進められました。

大会議長に齋藤氏選出

対など闘う運動方針を確立しました。



開会挨拶をする土合副委員長

国労北陸地方本部は、8月24日、石川県女性センターにおいて第81回定期地方大会を開催しました。大会では、一年間の闘いの総括を行い、安全輸送の確立、労働条件改善、2025春闘勝利、機関活動の活性化、組織強化・拡大、憲法改悪反対、原発再稼働反対など闘う運動方針を確立しました。

代表者に出席頂き挨拶を受けました。

「能登半島地震に対して、国労本部が取り組んだ『震災カンパ』は全国から290万円を超える額が寄付され、珠洲市・輪島市・内灘町の3自治体および被害を受けた8名の組合員に届けられた。改めてお礼を申し上げたい。志賀原発には3メートルを超える津波がおしよせ、電源の損傷など復旧に2年以上がかかると見られる。石川県が行ってきた避難計画も絵に描いた餅の状況であった。かつて計画されていた珠洲市への原発立地が進んでいたら、今回の地震でどうなっていたか、地震大国の日本には原発は不要である。また、裏面に背を向けて腐敗と暴走が止まらない岸田政権のもと、国民の命と暮らし、平和と民主主義が危機にさらされている。一日も早く自公政権を国民本位の政治に転換させなければならぬ。先に開催された第93回定期全国大会では、代議員の三分の二以上がJR採用の組合員であった。次世代に闘う国労を残し、引き継いでいくために私たちはどう考え、どうすべきか『一歩前に立ち上がろう』。新幹線の延伸によって職場環境が大きく変わった組合員も多くいるかと思うが、新たなチャンスやきつかけも生まれているはずである、組合員の奮闘に期待する。」と挨拶しました。

執行部を代表し、藤野執行委員長は「能登半島地震に対して、国労本部が取り組んだ『震災カンパ』は全国から290万円を超える額が寄付され、珠洲市・輪島市・内灘町の3自治体および被害を受けた8名の組合員に届けられた。改めてお礼を申し上げたい。志賀原発には3メートルを超える津波がおしよせ、電源の損傷など復旧に2年以上がかかると見られる。石川県が行ってきた避難計画も絵に描いた餅の状況であった。かつて計画されていた珠洲市への原発立地が進んでいたら、今回の地震でどうなっていたか、地震大国の日本には原発は不要である。また、裏面に背を向けて腐敗と暴走が止まらない岸田政権のもと、国民の命と暮らし、平和と民主主義が危機にさらされている。一日も早く自公政権を国民本位の政治に転換させなければならぬ。先に開催された第93回定期全国大会では、代議員の三分の二以上がJR採用の組合員であった。次世代に闘う国労を残し、引き継いでいくために私たちはどう考え、どうすべきか『一歩前に立ち上がろう』。新幹線の延伸によって職場環境が大きく変わった組合員も多くいるかと思うが、新たなチャンスやきつかけも生まれているはずである、組合員の奮闘に期待する。」と挨拶しました。

「能登半島地震に対して、国労本部が取り組んだ『震災カンパ』は全国から290万円を超える額が寄付され、珠洲市・輪島市・内灘町の3自治体および被害を受けた8名の組合員に届けられた。改めてお礼を申し上げたい。志賀原発には3メートルを超える津波がおしよせ、電源の損傷など復旧に2年以上がかかると見られる。石川県が行ってきた避難計画も絵に描いた餅の状況であった。かつて計画されていた珠洲市への原発立地が進んでいたら、今回の地震でどうなっていたか、地震大国の日本には原発は不要である。また、裏面に背を向けて腐敗と暴走が止まらない岸田政権のもと、国民の命と暮らし、平和と民主主義が危機にさらされている。一日も早く自公政権を国民本位の政治に転換させなければならぬ。先に開催された第93回定期全国大会では、代議員の三分の二以上がJR採用の組合員であった。次世代に闘う国労を残し、引き継いでいくために私たちはどう考え、どうすべきか『一歩前に立ち上がろう』。新幹線の延伸によって職場環境が大きく変わった組合員も多くいるかと思うが、新たなチャンスやきつかけも生まれているはずである、組合員の奮闘に期待する。」と挨拶しました。

| 2024年度 執行体制と任務分担 | | | |
|------------------|-------|-----|-------------------------------------|
| 執行委員長 | 藤野 能章 | (再) | ○総括、総務、退職者、政治 |
| 執行副委員長 | 土合 聡 | (再) | ○業務部長、新幹線対策、法対、企画 家族会 |
| 書記長 | 太田 茂雄 | (再) | ○企画部長、組織部長、貨物担当部長、 調査、国労会館、共闘、共済 |
| 執行委員 | 山田 輝男 | (再) | ○財政部長、教宣部長、業務、法対 |
| | 山村 実 | (再) | ○業務、組織、新幹線対策 |
| | 坪坂 康弘 | (再) | ○調査部長、組織、共済、貨物 |
| 会計監査員 | 堂前 一訓 | (再) | |
| | 後藤 通広 | (新) | |

執行委員会を開催し任務分担決定
大会終了後、第1回執行委員会を開催し、新幹線延伸を理由に様々な労働管理が行われる中、組織強化・拡大を最重要課題とした新執行体制の任務分担を決めました。

